

## 【現状認識】

大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続く中、日本社会には構造的課題が累積している。私たちは数々の課題に新型コロナウイルスと共生しながら対処し、成長軌道に戻していく必要がある。

東京商工会議所は、「東京の発展・変革に挑む」をスローガンに掲げ、激動の時代だからこそ、日本・東京の良さ・強さを再認識するとともに、「変革」に挑んでいくため、中期ビジョンを策定した。

初代会頭渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、長年の停滞から抜け出し、「日本再出発の礎」を継承し、さらに発展させるとともに、「変革の連鎖」によって新しい時代を切り拓くため、行動していく。

## 東京商工会議所 3つのミッション

- ・ 会員企業の繁栄
- ・ 首都・東京の発展
- ・ わが国経済社会の発展

140 (意志を) つなぐ 東商ビジョン  
～140th to 150th～

## 「企業の繁栄」への挑戦

- 挑戦1 | 多様な人材を企業へつなぐ
- 挑戦2 | 生産性向上を経営の変革へつなぐ
- 挑戦3 | 価値ある事業を次世代へつなぐ
- 挑戦4 | 中小企業と世界をつなぐ

## 「首都・東京の発展」への挑戦

- 挑戦5 | 2020年大会の成功と東京の都市力向上をつなぐ
- 挑戦6 | 東京の活力を地方創生につなぐ

## 「わが国経済社会の発展」への挑戦

- 挑戦7 | 社会課題解決を豊かな未来につなぐ
- 挑戦8 | イノベーションを社会の活力へつなぐ

## 「東京商工会議所の変革」への挑戦

- 挑戦9 | 一体感ある強い組織をつくる
- 挑戦10 | 次代を拓く政策・事業をつくる

2023-2025  
中期ビジョン スローガン

## 東京の発展・変革に挑む &lt;志を高く、新しい時代を切り拓く&gt;

## Challenge 1 — “東京”の中小企業の繁栄に挑む

## 1. 中小企業の新たな挑戦と成長を全力支援

東京の経済を支える中小企業の自己変革の取り組みや弛まぬ努力への継続的な支援が必要である

- 中小企業のイノベーション創出・成長に向けた経営支援を強力に推進する
- コロナ禍から早期に業績回復を図り、魅力と活気に溢れた企業の挑戦を支援する

## 実施内容

- ・ スタートアップとの協業や産学公連携を通じた、中小企業のイノベーション創出の促進
- ・ 23支部によるマル経融資、インボイス制度への対応等、個社に寄り添った経営支援
- ・ 事業ドメインの再構築・引継ぎ（M&A）、円滑な事業整理等、専門相談の推進
- ・ 中小企業の国際展開、海外市場開拓の促進・課題解消に向けた環境整備
- ・ 円滑な事業承継の実現に向けた意見・集約および支援施策等の情報発信
- ・ リアルやオンラインを活用した商談会開催による商談機会の創出

## Challenge 3 — 首都“東京”から日本経済の新たな成長に挑む

## 3. イノベーションの創出と経済好循環への後押し

資源が乏しいわが国が持続的に成長するためには、民間投資を積極的に呼び込めるエンジンとしての新たな産業創出やスタートアップの成長を促進していく必要がある

- 民間投資を促進する大胆な規制改革や税制改正により新産業の創出を目指す
- エネルギーの安定供給を確保しつつGX・カーボンニュートラルの取組を推進する

## 実施内容

- ・ IT・ものづくり等、東京の強みを生かしたスタートアップ育成支援、起業・創業促進
- ・ 「経済成長と環境の両立」に向けたエネルギー・環境政策の推進
- ・ 地域・中小企業による節電・省エネから脱炭素経営の取組推進
- ・ 中小企業の新たな付加価値創出に向けた税制の調査研究
- ・ 持続可能な全世代型社会保障制度実現・社会保険料負担の抑制に向けた調査研究

## 5. 大企業と中小企業の共存共栄による付加価値向上

価格転嫁等の取引適正化による中小企業の付加価値向上を図るとともにコロナや国際紛争により影響を受けているサプライチェーンを強靱化する必要がある

- パートナシップ構築宣言の実効性を高め、取引適正化の機運醸成を図る
- 資源の安定確保やサプライチェーン全体の付加価値向上を推進する

## 実施内容

- ・ 中小企業の自己変革・付加価値向上支援および価格転嫁に必要な環境整備
- ・ グローバルサプライチェーンに関する諸課題の検討・対応
- ・ 取引契約の重要性等法務対応力強化、知財経営促進、取引適正化に関する取組推進
- ・ 感染症・サイバー攻撃・紛争等、企業を取り巻く多様なリスクへの対応
- ・ 経済連携協定等を見据えた貿易証明書の円滑な発給業務の推進

## 活動指針

## 現場主義・双方向主義の徹底 / 8.5万会員体制への拡大

- 会員・地域と「対話」を通じた積極的なコミュニケーションにより組織基盤の強化を図る

## 実施内容

- ・ 23支部と本部との強固な連携、若手・女性経営者の積極的な登用
- ・ 幅広い業種・業態等厚みある構成による会員基盤の強化
- ・ 国・東京都、国内外の多数の関係団体・機関とのさらなる協調の推進

## Challenge 2 — 人と企業が輝く都市“東京”の実現に挑む

## 2. 魅力的な都市・選ばれる都市“東京”の発展を牽引

東京の経済成長率は世界の都市と比べ低迷しており、将来に渡り成長できる取り組みが必要である

- 23区のオリジナリティと魅力発信により、シビックプライド醸成と訪都需要を喚起する
- 東京の国際競争力（文化・経済等）の向上と災害・リスクに対する強靱化を推進する

## 実施内容

- ・ 「国際文化都市 東京」に向け23区の地域資源の発掘・磨き上げ・発信、交流の促進
- ・ 地場・伝統産業の活性化支援、区との連携等、特色ある地域コミュニティ・街づくりの推進
- ・ 大阪・関西万博も見据えツーリズム産業の成長促進によるインバウンド需要の獲得
- ・ あらゆる危機に対応する都市の構築やBCP策定等、災害・リスク対策の推進
- ・ 各地域のインフラ整備（交通・物流網等）、都市のGX等都市政策のスピードアップ
- ・ 集積メリットを活かした都市力向上、少子化対策等東京の成長戦略への提言要望

## 4. 持続的な賃上げに向けた生産性向上の支援

中小企業の労働生産性は大企業の4割にとどまっており、生産性向上に向けた新たな投資や賃上げ等の原資が少ない現状である

- 成長と分配の好循環の実現に向け、中小企業の「人への投資」を推進する
- 中小企業が生産性向上に資するDXやリスクリング、サイバーセキュリティ対策を推進する

## 実施内容

- ・ デジタルシフト推進サポート（ぴたりDX）事業を通じた、中小企業のDX推進
- ・ 中小企業が生産性向上に資する人材の育成（リスクリング・能力開発）支援
- ・ 納得感のある最低賃金の決定に向けた意見・集約
- ・ 産業人材の育成に向けた、行政・学校と連携した人材育成支援事業の推進
- ・ 中小企業の経営基盤を支え、強化する共済・福利厚生支援事業の推進

## 6. 多様な人材が活躍できる環境整備

人口減少・人手不足時代が到来しており、企業は人材・働き方の多様性（ダイバーシティ）を受入れ、産業人材を育成するとともに、企業の成長に活かしていく必要がある

- 女性の活躍推進を一層進め、多様な視点を活かしたビジネス展開につなげる
- 外国人材、シニア人材、障害者等の受入拡大につながる環境の整備を推進する

## 実施内容

- ・ 多様な価値観を持つ人材が最大限活躍できる環境整備への支援
- ・ 技能実習・特定技能制度の改善と利用促進に向けた意見・集約
- ・ 成長産業・人手不足産業への円滑な労働移動の促進
- ・ 多様な働き方を後押しする東商検定の推進等、ESG人材の育成促進

## 東商創立の精神の普及・啓発 / 渋沢栄一翁 関連事業の展開

- 社会に責任を持ち貢献する「私益と公益の両立」等、東商創立の精神を普及・啓発する

## 実施内容

- ・ 2024年新1万円札発行に向けた渋沢栄一翁精神の浸透
- ・ 「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」に基づく事業展開